

## 体操・新体操

- 1 期 日 平成30年7月21日(土) 体操競技(男女) 男子新体操(団体・個人)  
22日(日) 女子新体操(団体・個人)
- 2 会 場 カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)

### 3 競技に関すること

#### (1) 競技種目

##### ① 体操競技

- ・男子：ゆか、あん馬、跳馬、鉄棒の規定、自由演技を実施)
- ・女子：跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの自由演技を実施)

##### ② 新体操

- ・男子：団体および個人
- ・女子：団体および個人

#### (2) 採点規則

##### ① 体操競技

- ・男子：(公財)日本体操協会2017年版採点規則、および2017年制定・2018年中学校適用規則を適用
- ・女子：(公財)日本体操協会2017年採点規則・変更規則Iを適用

##### ② 新体操

- ・男女とも団体は学校単位で構成する。
- ・男子：(公財)日本体操協会2015年版採点規則(2018年2月改訂含む)ジュニアルールを適用
- ・女子：(公財)日本体操協会2017-2020年採点規則を適用。  
ジュニアルール(2018年4月30日までのホームページで確認事項まで)

#### (3) 競技規則

##### ① 日本体操協会競技規則最新版に準ずる(一部を除き日本・東北中体連遵守事項に準ずる)

##### ② 体操競技

- ・体操競技のユニフォームの胸部または上腕部に所属チーム名またはマークを背部にはゼッケンをつけなければならない(各学校のゼッケンは要項参集ページ参照)。ただし、団体は同一のユニフォームとする。
- ・体操競技女子のゆか運動・平均台の自由演技は90秒。男子のゆか運動は70秒を越えると減点の対象になる。

##### ③ 新体操

- ・新体操はユニフォームに所属チーム名またはマークをつけなければならない。つける位置

腰骨より上（上腕を含む）、体の前面につけなければならない。個人にゼッケンはない。個人のユニフォームは団体と同一でなくても良い。

- ・新体操男子の競技種目は次の種目とする

手具 団体・・・徒手（手具なし）  
個人・・・ロープ、クラブ（一人2種目）

- ・新体操女子の競技種目は次の種目とする

手具 団体・・・クラブ（10）  
個人・・・フープ、ボール（一人2種目）

- ・新体操女子の伴奏曲は団体2分15秒～2分30分、個人1分15秒～1分30秒以内

- ・新体操男女個人は一人2種目の出場とする。1種目のみの出場は認めない。

#### 4 表彰

##### ① 体操競技

- ・団体（学校対抗）・・・男女
- ・個人総合・・・男女
- ・個人種目別・・・男女

##### ② 新体操

- ・団体（学校対抗）・・・男女
- ・個人総合・・・男女
- ・個人種目別・・・男女

#### 5 申し込み規定

- ① 申し込みは所定の用紙（中体連HPよりダウンロード）に必要事項を記入し6月21日までに下記に郵送（またはFAX）すること。

・体操競技	〒983-0836	仙台市宮城野区幸町1-15-1	仙台市立幸町中学校内	千葉一正
		電話 022(275)3662	FAX 022(301)9648	
・新体操	〒982-0023	仙台市太白区鹿野1-8-1	仙台市立長町中学校内	林亜希子
		電話 022(248)1444	FAX 022(304)1359	

- ・抽選会後の申し込みは、変更は一切受け付けない（6月21日12:00締め切り）。
- ・申し込みにあたっては、宮城県中体連会誌の大会要項内容を十分に確認すること。

##### ② 体操競技の申し込みについて

###### ○男女共通

- ・団体は男女とも1チーム4名（補欠2名）を持って編成し、同一人が全種目を競技しなければならない（学校対抗はベスト3の得点合計で順位を決定する。3名いれば団体とする）。

###### ○男子

- ・男子は団体に出場する者の他に個人選手権に出場することができる。ただし、地区大会を実施している地区は地区大会に出場した者のみ出場可。
- ・男子で県大会に個人で出場権を得た選手を県大会で団体選手と交代して登録、または団体の補欠として登録することができる。その場合、団体の補欠と個人選手権の両方に登録しなければならない（男子のみ県内ローカルルール）

## ○女子

- ・女子は、各地区の出場枠に基づき県大会の出場権を得た者が出場できる。
- ・女子で県大会の個人の出場権を得た選手は、団体や団体の補欠として登録することはできない（女子は各地区で出場枠に基づき予選を行っているため、その個人のみに出場権を与えるルールである。よって全国、東北ルールと同じルールを県から適用する）。

### ③ 新体操の申し込みについて

- ・団体競技は1チーム男子6名（補欠2名）、女子5名（補欠3名以内）で編成する。
- ・男女とも各地区から県大会に出場できる人数は出場枠に基づく。また、各学校から出場できる人数は最大で2名までとする。
- ・男女とも個人で県大会の出場権を得た選手が団体登録、または団体の補欠にすることができる。

## 6 監督（顧問）、審判等

- ・監督（顧問）は出場校の校長、教員とし、必ず大会運営に参加、協力すること。
- ・監督（顧問）は、生徒が参加する日の朝に行われる監督会議に、必ず出席しなければならない。
- ・コーチ、テクニカル・アドバイザーは申込書に記入され、学校長が認めた場合のみ可。申し込まれない場合は競技中、競技場には入れない（新体操男女のコーチは競技開始後は競技場に入れない、また、テクニカル・アドバイザーは適用しない）
- ・中学校の教職員は所属校以外の学校の外部コーチにはなれないが、例外として体操競技のテクニカルアドバイザーにはなれる。

\* 「外部コーチ」「校外コーチ」「テクニカル・アドバイザー」の明記を忘れないこと。

＊外部コーチ・・・・・・・・・・校内において継続的に指導している外部コーチ

校外コーチ・・・・・・・・・・校外（クラブ等）で指導しているコーチ

テクニカル・アドバイザー・・・中学校の教職員が所属校以外の中学校の補助・指導をする場合（体操競技のみ）

## 7 その他

- ・体操競技男女と男子新体操は出場する競技前後の生徒役員（補助役員）を兼ねる。
- ・体操競技男女のゼッケンは抽選会で決定する。
- ・新体操と体操競技は同一人が兼ねることはできない。ただし、県内特別ルールとして男子新体操と男子体操競技は兼ねて出場することができる。
- ・本会場において、女子の新体操、体操競技（ゆか）はCD、またはポータブルオーディオプレイヤー等に曲を入れて、本部が用意した音楽機器を使用するか、持参した音楽機器にて曲をかけること。
- ・本部デッキを使用する場合は、本番用だけでなく予備も用意して大会に参加すること。
- ・演技開始の際は、各校の音楽係、コーチ等が音楽機器の操作をすること。なお、どちらの音楽機器においても会場のマイク等を使用することは認めない。

※ 音楽機器は入力方式により、再生できない場合があります。音楽調整の際に必ず確認してから競技に臨むこと。